

社会とともに—地域社会との対話

社会とともに—地域社会との対話

[活動方針]

私たちは、地域社会との交流を主体的・積極的に行い、密接な連携と協調を図ることで、良き企業市民としての役割を果たします。

F-c 地域・社会との対話 2012年の取り組み

被災地の中学校に ピッチングマシン寄贈

「HORIBA グループ感謝デー」におけるバザーの売上金（355,938 円）に㈱堀場製作所からの拠出金を加えた 460,000 円を、東日本大震災・被災地への義援金として寄付しました。

2012 年夏、小・中学校の再生を支援するプロジェクトでこの義援金が使われ、陸前高田市立広田中学校の野球部へピッチングマシンが寄贈されました。野球部の皆様から、喜びと感謝と、前進を誓う力強い手紙が HORIBA へ寄せられました。



ハリケーン「サンディ」 義援金

2012 年 10 月 29 日、米国ニュージャージー州南部に上陸した過去最大級のハリケーン「サンディ」により、同州は大きな被害を受け、ホリバ・インスツルメンツ社（アメリカ）でも、数名の社員が自宅（床上）や自動車に浸水被害を受ました。国内 HORIBA グループでは被災者支援のための募金を社員に呼びかけ、ニュージャージー州の被災者救済基金に 4 万ドルの義援金を寄付しました。



ハリケーン「サンディ」被災者救済基金理事長の Mary Pat Christie さん（中央）と当社現地責任者（2013 年 4 月の感謝式典にて）

スコットランドで チャリティレースを開催

イギリス・スコットランド地方にあるホリバ・ジョバンイボン IBH 社の社員が、チャリティボートレースを主催しました。集まった収益は、オフィスの近くにある子ども病院へ寄付され、病気の子どものために役立てられました。



F-c

次世代育成支援 2012年の取り組み

環境出前授業

身近な素材を使った実験や、動植物の不思議なセンサーを感じてもらう生物多様性教室など、日常生活の中で様々な興味を持っていただく場として、小中学生向けの環境出前授業を開催しています。2012年は年間66回開催し、2,200名の参加がありました。



子ども向けイベントへの参加・協賛

HORIBA 製品を使った体験学習を通じて、子どもたちに科学のおもしろさや生物の不思議を感じてもらえるよう工夫しています。

(2012年参加実績の一部)

- 2月18日 京あるきin東京（東京都千代田区 ㈱堀場製作所東京支店）
- 3月30日~4月1日 グリーン・カレッジ2012（沖縄県島尻郡 座間味村阿真ビーチキャンプ場）
- 7月24日 南区企業の“知”活用促進事業（京都市南区 ㈱堀場製作所本社）
- 7月29日 特別展「遊ぼう！ためそう！感覚ミステリー」（広島県広島市 健康科学館）
- 8月4日 キッズエンジニア2012（神奈川県横浜市 パンフィコ横浜）
- 8月6日・11日 びっくりエコ100選（京都府京都市 高島屋京都店/東京都新宿区 新宿高島屋）
- 8月13日 HORIBAセンサー体験イベント（京都府京都市 京エコロジーセンター）
- 10月6日 小松サイエンスワールド（石川県小松市 いしかわ子ども交流センター）
- 11月10日・11日 青少年科学の祭典（京都府京都市 京都市青少年科学センター）
- 12月22日 HORIBA環境出前授業（大阪府大阪市 生き生き地球館）



F-c

次世代育成支援 2012年の取り組み

工業高等専門学校生に、ものづくり実習を実施

国立舞鶴工業高等専門学校と HORIBA とで実施している「エンジニアリング・デザイン演習」の一環で、「ものづくり実習」や「工場見学」を開催しました。この演習は今年で2回目となり、HORIBA の製品開発から出荷までの流れを、約2ヶ月間、全8回の授業で、HORIBA の社員が講師となり、講義を実施。学生の皆さんと社員の双方にとって、有意義な機会となりました。



大学院生に向けて、グローバル・リーダーシップ論を講義

京都大学の「グローバル・リーダーシップ大学院工学教育推進センター」からの依頼を受け、HORIBA の社員が6月と7月の2回、大学院生を対象に講義を行いました。HORIBA の人財育成についての考え方やプロジェクトマネジメントの手法などを紹介したところ、大きな興味と関心が寄せられました。



中学・高校生向け分析機器体験実習を開催

日本分析機器工業会 (JAIMA) の社会貢献活動の一環として、日本科学未来館において、中学・高校生向けに分析機器体験実習を開催しました。社員が講師となり、色の違う石の元素を元素分析装置で調べたり、水に呼気をバブリングながら pH の値の変化を測定するなどのユニークな実習を通して、分析のおもしろさを体験していただきました。



KEYWORDS

東日本大震災 | ボランティア | 環境出前授業 | 地域のイベント